

囲碁入門講座通信 令和2年 第17号



報告:有楽斎

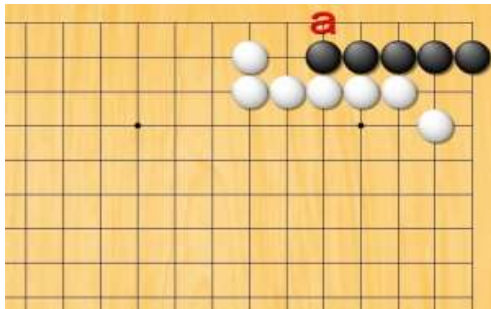
毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しいところですが、**現在休局中です**。(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用に囲碁用語を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

囲碁用語 隅の二線、基本詰碁

(前号からのつづき) 実戦では「二線で小さく生きるのは、たいていの場合良くない」ということです。相手の外側の壁(厚み)が強力になってしまうからです。ただし、自分の石が生きることによって、隣接する相手の石が自動的に死ぬ場合とか、相手の大きな陣地の中で生きようような場合は別です。ただ生きるだけのために二線を這う(または這わされる)のはまずいのです。でも、このことは棋力が初段に近づいてこないと実感できないかもしれません。

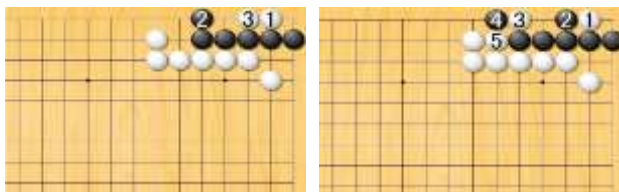
隅の二線、基本詰碁 六死八活は辺における「死活の格言」ですが、隅においては状況がまったく異なります。そのことを詰碁の解説で見ていきましょう。



黒先生き。白先では？

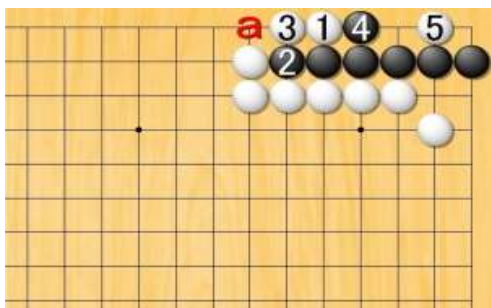
二線に並んだ黒石の片側が辺にくっついていました。こんな場合は石が5個だけでも、黒番なら **a** と打って生きています。辺に比べて二手少なくて済むわけですね。

でも白番なら、この石は死んでいるのです。黒を殺す手は二通りありますが、分かりますか？



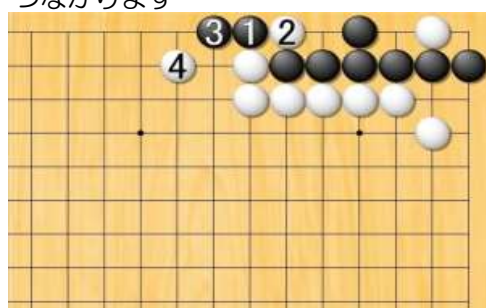
左図 正解1 白1と目の急所に打つのが簡明です。黒2とスペースをつくれば白3と打って、黒は二眼を作ることができません。そこで黒2で3に打てば…

右図 欠け目 左図の変化図です。白3が目を奪うポイントで白5まで。黒は3の白石をとっても欠け眼になり、生きることはできません。黒4で黒5なら、白4とつながります



左図 正解2 もう一つの正解図です。前図の白3も急所なので、そちらを先に打ったらどうか？ 黒2から4には、白5と目を奪って黒死です。また、黒2で3は、白2、黒4、白5で同じような形になります。

このあと、黒aの二子取りが心配ですが…



右図 ウチカキ 黒1の二子抜きには白2のウチカキで欠け目にします。黒は3と外に逃げるしかありませんが、白4で黒の脱出は止まっています。

隅の二線の死活では、眼形の急所と、欠け眼にする手段をしつかりと頭に焼きつけてください。死活の基本中の基本です。

問題は、初級囲碁講座(無料講座)より引用しました。次号は10月10日発行予定です